あかびら市議会

KA かわら WA わら RA ら BAN 版

2016.04.01 No.37

昨年からの議場での取り組みとして、本年も手話通訳を実施しました。

第1回定例会の主な議題

第１回定例会は、３月３日から18日までの16日間の日程で開催され、平成28年度各会計予算、補正予算、高等学校等通学費等支援条例など議案37件、意見書案６件を原案可決し閉会しました。

今回の予算は赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略に関しての事業費についても審議されました。

また、10日から２日間にわたり会派・諸派の代表５名が市政執行方針に対する一般質問を行いました。

議会報告と意見交換会のお知らせ

市議会では、市民のみなさまの声を聞かせてもらうため、６月にみなさまのところに伺います！「**議会に傍聴にいってもよくわからない**」とか「**私たちの意見は聞いてくれるの？**」という方も大丈夫！是非、ご参加ください！

議会の動き

1/12　行政常任委員会
1/29　行政常任委員会
2/ 4　議会運営委員会/議会改革検討協議会
2/ 9　第１回臨時会
2/22　議会運営委員会
2/29　議会運営委員会
3/ 3　第1回定例会（～18日）
　　/議会運営委員会/予算審査特別委員会
3/ 4　行政常任委員会
3/14　予算審査特別委員会（～17日）

予算審査の総括質疑

民主クラブ

【質疑】赤平市創生総合戦略は、市民ぐるみの取り組みであり内容への充分な理解が必要。市民の意識向上対策のＰＲは大切で、決定内容の周知徹底方法を伺う。

【答弁】この戦略は様々な市民参加の過程を経て作成した重要な計画、市ホームページに掲載、総合戦略概要版の全戸配布、広報あかびら４月号に新規施策を紹介、春の住民懇談会で概要を説明する。

新政クラブ

【質疑】平成２８年度予算は、第５次総合計画と、総合戦略五ヵ年計画を基調とする意欲的編成になっており敬意を表する。本予算の執行を前に、市長の決意の程を伺う。

【答弁】今後必要に応じて施策の検証や見直しを行い、市民各位の意思を相談して各種施策の早期実現に努める。施策の実行に当たっては、国や道などに支援をお願いしていく。

夢　現　会

【質疑】児童・生徒の不登校、いじめへの数は０ではなく、青少年対策で日々対応をしている現状は理解する。その中で、学校・社会教育と連携を持ち、今後、子供達への対応をどう考えているか伺う。

【答弁】センター専門員の業務は学校教育・社会教育と分け隔てなく、連携により円滑な業務遂行に努めている。内容によっては業務の線引きが難しいため、現在の１人体制の検討や女性指導員の配置なども考えてみたい。

公　明　党

【質疑】人口減少と高齢社会に併せた今後の財政運営は市税の減収と地方交付税も減少となるが、今後の施策を進める上で公共施設の統廃合による複合施設で効果的な取組みが必要と思うが考えを伺う。

【答弁】公共施設改革は学校の建物も規模も大きいことから他の活用要素に対する影響も大きくなる。子供達の教育環境づくりとより良い学校施設を目指し早期に小学校１校統合を市民と協議し理解を得ながら進めていく。

日本共産党

【質疑】地域おこし協力隊について、まだ大きな効果が期待できると思う。現在の企画財政課、商工労政観光課以外の課でも活用する案を出し、人数を増やしていく考えはないか。

【答弁】市外から来られた方の視線、考え方は貴重であり、幅広い分野における協力隊の採用について検討を進め、当市の発展、移住定住の可能性を見出すよう努めていく。

編集後記

行きつ戻りつしながらも春がやってきました。
28年度予算も決まり、北海道は卒業、入学、異動など4月が一年の始まりのようです。
新人議員も間もなく1年になりますが頑張っています。
今年は、議会報告会、議員の視察や研修などがあり忙しくなります。市民とともにある議会を目指しておりますので、今後も叱咤激励をよろしくお願いいたします。（担当　向井）

かわら版編集委員会　植村・五十嵐・向井・木村・御家瀬

※このかわら版のお問い合わせは、赤平市議会かわら版編集委員会　TEL32-1858までお願いいたします。
また、赤平市議会のホームページでもご覧いただけます。

民主クラブ

若山　武信

【質問】産業振興に伴う人材育成の重要性について伺う。

【答弁】平成24年度から赤平市産業振興人材育成事業を開始、26年度から赤平市産業振興企業協議会が主体となり、ＰＲ事業や先進企業の視察研修、講演会の実施等で18社、延べ69名の若手企業人を育成。現在20名程度を募集中である。

【質問】保育料無料化と子育て支援住宅について伺う。

【答弁】４月から国の基準の50％軽減を実施。無料化は「幼保連携型認定こども園」実現時に実施予定である。子育て支援住宅は豊丘の吉野団地の建替えに合わせ計画、６棟99戸のうち39戸が該当する。

【質問】サービス付き高齢者向け住宅の整備と介護施設の拡充について伺う。

【答弁】サ高住は民間事業者が建設予定で、市は支援策を取りまとめ建設を促進させる。入居費用は、軽減措置を検討。介護施設も民間で検討中。需要動向を見極め保険料とのバランスを図り、支援策を検討したい。

【質問】医師確保と病院経営の安定について伺う。

【答弁】安定的持続は、医師の安定的確保が必須条件で、病院と行政が一体となって医師確保に努める。また、看護師、医療技術者の安定確保はもとより診療情報管理、経営管理など事務職の配置も重要で各職種の垣根のないコミュニケーション組織の形成が大切である。

新政クラブ

獅畑　輝明

【質問】小規模事業者に対する起業支援策について伺う。

【答弁】商店街の空き店舗や空き地の利用促進を図るため、「赤平市起業支援事業補助金」を創設。店舗や事業所開設の初期投資に対する助成で、工事費・改修費・修繕費の他に、広告宣伝費や備品購入費を対象経費として、かかった経費の２分の１を助成し、限度額３００万円までとする。

【質問】聴覚障がい者の環境整備について伺う。

【答弁】市として、手話通訳者の重要性を認識し、手話通訳者や手話奉仕員の育成に取り組みたい。平成28年度からは、入門編としての手話研修会を開催。手話奉仕員への謝礼について、現行１時間当たり１，０００円を１，５００円とし、待遇改善を図っていく。

【質問】ＩＣＴ（情報通信技術）活用と学力向上について伺う。

【答弁】「ＩＣＴ活用による学力向上支援事業」として、平成27年度は豊里小学校、平成28年度は茂尻小学校をモデル校に、別々の基幹ソフトを利用しての、調査研修事業を行い、翌年度以降のタブレット端末本格導入に向けて、機種及びソフトの選定に役立てたい。児童・生徒にとって、必要不可欠なことであり、速やかにその整備に努める。

夢現会

植村 真美

【質問】特産品と農業支援の連動の中で、農家全体で生産できるお米の品質や体制を考えることやこれからの体制を若い後継者も考えていける体制づくりについて伺う。

【答弁】赤平産米として販売するためには、独自に受け入れる施設を増設する必要も出てくる。若い農業者とは話し合いの場をもって支援できることは支援する。

【質問】商店街振興に向けての取り組みが進められる中、駐車場整備や新たな外部協力者との体制、政策づくりが先に必要ではないか。

【答弁】商店街振興対策協議会が主体となり、アンケートやニーズ調査を行い、どこに主眼を置いた整備が必要なのか協議する。

【質問】高齢者を地域で守る体制において地域情報を求める方には公開し、見守りの意識付習慣を設けるなど、若い世代と高齢者が歩み寄れる環境づくりについて伺う。

【答弁】情報把握の方法やデータ整備等について意見交換しながら、当市における、より良い見守り体制の構築を図る。

【質問】子ども達の教育環境整備について、市内のものづくり企業と連携しながら屋内遊戯施設についての検討を進めてはどうか。

【答弁】市内に根付くものづくりのあたたかさ、ぬくもりを子ども達が触れる機会をどのように設けるか等も含め、今後検討する。

公明党

五十嵐美知

【質問】平成27年赤平市の国勢調査結果は空知管内24市町では、４番目に高い人口減少率で、市税全体の減収と自主財源にも影響し、現在の地方交付税は約50％の依存の中で、今後の市政運営について伺う。

【答弁】人口減少対策を目的とした、赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略の施策を確実に実行し、今後は検証や見直しを行いながら成果を上げていく。財政運営面では、市税や使用料、地方交付税などにも大きく影響し、今後の課題は公共施設の効果的な運営を前提に更なる公共施設の統廃合を推進していく必要があると考えている。

【質問】未給水地域の方々の飲用井戸は、長きにわたり自己責任で生活水を確保し、今日に至ったが、平成27年度の実態調査の結果を踏まえ、今後の負担軽減について伺う。

【答弁】本年度市内６カ所の飲用井戸の水質調査をし、そのうち１カ所が「鉄及びその化合物」の項目で、水質基準に適合しないという結果になり、現在調査委託と並行し、他市町村の先進事例を参考に平成28年度は水質検査費用や除鉄装置設置費用等の助成方法などに取り組む。

日本共産党

木村　恵

【質問】赤平市には仕事があるが働いている方々は近隣市から通っている方がたくさんいる。定住策として企業への協力要請についての考えはどうか。

【答弁】民間賃貸住宅建設において企業の意向も考慮した中で助成内容の見直しを検討しており、平成28年度も市内企業による賃貸住宅の建設が計画されていると伺っている。今後、事業効果を検証しさらなる移住定住の促進に向けて、少しでも多く企業のご協力がいただけるよう努めていく。

【質問】市立病院について、医師の方々、看護師はじめ職員の方々が働く意欲を持てる環境づくりができているか。

【答弁】現在、勤務されている医師、看護師、その他の職員すべてが当院において使命感を持って働いていると認識しているが、今後も引き続き職場でのコミュニケーション等を密にし、さらなる職場環境の向上に努めたいと考えている。

【質問】国民健康保険について、低所得者数に応じた保険者への財政支援の国保支援金を活用して国保税の引き下げをする考えはないか。

【答弁】国保会計で単年度収支を均衡させることを基本に国民健康保険運営協議会に諮りながら低所得者対策として国保税の税率について検討していく。

◎意見書６件　　可 決

①児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書

②軽減税率の円滑な導入に向け事業者支援の強化などを求める意見書

③ＴＰＰの影響に関する国民の不安を払拭し，対策の確実な実行を求める意見書

④地方公会計の整備促進に係る意見書

⑤介護職員の人材確保を求める意見書

⑥子どもの貧困対策の抜本的強化を求める意見書